

3. 経営学科

経営学科には、「マネジメント」「会計情報」の2コースがあり、それぞれのコースによって専門教育科目の履修方法が異なる。学生諸君は、いずれかのコースを選択し履修規程に基づいて単位を修得しなければならない。

各コースについて

【マネジメントコース】

21世紀を迎え、日本の企業は様々な困難に直面し、変容を迫られていると言われる。いわゆる「日本的経営」の見直しである。このコースでは、経済学の基礎的な知識も踏まえながら、そうした企業を含むさまざまな組織の経営について多面的に学修・研究する。組織を経営するには、ヒト＝人材、カネ＝資金、モノ＝原材料や諸設備、情報など、いわゆる経営資源を必要とするが、そうした資源をいかに効率的に調達し、有効に活用するかが問われる。つまり、経営全般にわたる知識の修得が求められるのである。なお、このコースでは、経営の現場での声に耳を傾けることや調査実習なども重視される。

【会計情報コース】

「会計」とは、企業（やその他の組織）の財政状態や経営成績を、外部の人々に対して明瞭な形で伝達・報告するまでの一連の手続きのことである。たとえばある企業に資金を提供しようとする人にとって、その企業の経営状態を正確に知ることは不可欠である。このコースでは、そうした情報を集約した報告資料の背景にある理論や作成方法、さらに分析方法について学修・研究する。なお、このコースでは1年次からの系統的な科目履修が求められるので注意すること（「簿記と財務報告A」は経済学部へ共通した基礎科目であるが、中でもこのコースにとっては最重要の基本科目である）。

カリキュラムの構成と履修方法

専門教育科目	学部共通科目	必修科目	3科目 6単位	64 単位	所要単位を超えて修得した単位は、自由科目 36 単位に算入 次頁以下の表 ★印科目の中より 所要単位を超えて修得した単位は、自由科目 40 単位に算入
		選択必修科目	2科目 4単位 ^{注1)}		
	学科基礎科目	選択必修科目	5科目 10単位		
	専門基本科目	コース別 選択必修科目	4科目 8単位以上		
	学部共通科目 学科基礎科目 専門基本科目 専門応用科目 専門関連科目	自由科目	36単位 ^{注2)}		

注1) 学部共通科目のうち「基礎演習B」は入学年度の後期のみ履修できる。(次頁カリキュラム表参照。) この科目は学部必修科目に準ずる重要な科目であるため、履修を義務づけている。従って学生が履修登録をする必要はなく、全ての学生が履修登録されている。前期の「基礎演習A」の評価が「D」または「R」の場合は後期の「基礎演習B」を履修できないが、「基礎演習B」の登録は解除しない。そのため当該時限にほかの科目を履修登録することはできない上、評価は「R」となるので、「基礎演習A」は極力修得すること。

注2) 次頁以降のカリキュラム表にある「演習Ⅰ」から「サマーセミナー(演習Ⅲ)」までの演習科目は、募集期間に「演習Ⅰ」(編入生の場合は「演習Ⅱ」)に応募して合格した学生のみ受講できる。また合格した「演習Ⅰ」または「演習Ⅱ」の担当教員が開講する科目しか受講できない。教員によって開講形態は異なるが、開講する科目は年度ごとに一括して履修登録される。

	授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考	
				1	2	3	4	メン マネジ	情会 報計		
学部共通科目	日本の経済	前後	2	○						3科目6単位(必修)	
	コンピュータと情報	A前後	2	○							
	基礎演習	A前後	2	○							
	基礎演習	B後期	2	○							→1年次での履修登録必須。「基礎演習A」修得済であること。入学初年次のみ履修できる。
	コンピュータと情報	B前後	2	○							→「コンピュータと情報A」を修得済であること
	情報システムの基礎	前後	2	○							このうち2科目4単位以上
学科基礎科目	世界の経済	前後	2	○							
	会社入門	前後	2	○							
	経営理論入門	前後	2	○							
	簿記と財務報告	A前後	2	○						→「簿記と財務報告A」を修得済であること	
	簿記と財務報告	B前後	2	○							
	現代の企業経営	前後	2	○							
	財務会計	前後	2		○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること	
	経営情報の開示	前後	2	○						このうち5科目10単位以上	
	調査研究入門	前後	2	○							
	企業問題入門	前後	2	○							
専門基本科目	日本経営史	前後	2	○							
	企業財務の基礎	前後	2	○							
	経営戦略の基礎	前後	2	○							
	マーケティングの基礎	前後	2	○							
	経営管理	前後	2		○			★		★を付してあるコース別指定科目より 4科目8単位以上を修得すること	
	経営組織	前後	2		○			★			
	国際経営	前後	2		○			★			
	マーケティング	前後	2		○			★			→「マーケティングの基礎」を修得済であることが望ましい
	経営史	前後	2		○			★			
	人事管理	前後	2		○			★			
	生産管理	前後	2		○			★			
	フィールドワーク入門(企業)1	前後	2		○			★			
	フィールドワーク(企業)2	通年	4		○			★			→「フィールドワーク入門(企業)」もしくは「フィールドワーク(地域社会)」を修得済であること
	フィールドスタディ入門(企業)1	前後	2		○			★			
フィールドスタディ(企業)2	通年	6		○			★		→「フィールドスタディ入門(企業)」を修得済であること		
予算管理	前後	2		○			★		→「簿記と財務報告A」を修得済であること		
原価計算	前後	2		○			★		→「簿記と財務報告A」を修得済であること		
公会計	前後	2		○			★				
応用財務会計	前後	2		○			★		→「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること		
税務会計	前後	2		○			★		→「簿記と財務報告A」を修得済であること		
企業監査	前後	2		○			★		→「簿記と財務報告A」を修得済であること		
国際会計	前後	2		○			★		→「簿記と財務報告A」及び「財務会計」を修得済であること		
専門応用科目	組織行動	前後	2		○						
	ベンチャービジネス	前後	2		○						
	日本の中小企業	前後	2		○						
	研究開発マネジメント	前後	2		○						
	流通システム	前後	2		○						
	コーポレート・コミュニケーション	前後	2		○						
	消費者と広告	前後	2		○						
	財務諸表分析	前後	2		○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること	
	コンピュータ会計	前後	2		○					→「簿記と財務報告A」を修得済であること	
	証券投資分析	前後	2		○						
	スタディツアー	集中	2	○							
	アンケート調査	通年	4		○					→「アンケート調査入門」を修得済であること	
	経営学特論	前後	2	○						→テーマが異なれば複数履修可	
	会計学特論	前後	2	○						→テーマが異なれば複数履修可	
	経営特別演習	前後	2		○						
	会計特別演習	前後	2		○						
	商法I	前後	2		○						
	商法II	前後	2		○						
リスクと保険	前後	2		○							
財政の基礎	前後	2		○							

1) フィールドワーク入門(企業)とフィールドスタディ入門(企業)は毎年いずれかが開講される。

2) フィールドワーク(企業)とフィールドスタディ(企業)は毎年いずれかが開講される。

次ページに続く

授業科目	開講	単位	開講学年				コース		備考
			1	2	3	4	メン トジ	情会 報計	
経済理論入門	前後	2	○						
社会経済学入門	前後	2	○						
経済史の基礎	前後	2	○						
経済統計の見方	前後	2	○						→「経済統計の見方」を修得済であること
統計学	前後	2		○					
社会保障の基礎	前後	2	○						
金融の基礎	前後	2		○					
経済原論	前後	2		○					
マクロ経済学	前後	2		○					→「経済理論入門」を修得済であることが望ましい
ミクロ経済学	前後	2		○					→「経済理論入門」を修得済であることが望ましい
計量経済学	前後	2		○					→「経済統計の見方」を修得済であること
現代日本経済	前後	2		○					
日本経済と政策	前後	2		○					
アンケート調査入門	前後	2	○						
日本経済特別演習	前後	2			○				
情報システム	前後	2		○					
演習Ⅰ	後期	2		○					
演習Ⅱ	通年	4			○				→「演習Ⅰ」を修得済であること☆
演習Ⅲ(4)	通年	4				○			→「演習Ⅱ」を修得済であること☆
演習Ⅲ(2)	後期	2				○			→「演習Ⅱ」を修得済であること☆
演習Ⅳ	後期	2				○			→「演習Ⅲ」を登録していること
サマーセミナー(演習Ⅰ)	集中	2		○					→「演習Ⅰ」を登録していること
スプリングセミナー(演習Ⅰ)	集中	2			○				→「演習Ⅰ」を登録していること
サマーセミナー(演習Ⅱ)	集中	2			○				→「演習Ⅱ」を登録していること
スプリングセミナー(演習Ⅱ)	集中	2				○			→「演習Ⅱ」を登録していること
サマーセミナー(演習Ⅲ)	集中	2				○			→「演習Ⅲ」を登録していること
国際経済	前後	2		○					→「世界の経済」を修得済であることが望ましい
地域経済統合	前後	2		○					→「世界の経済」を修得済であることが望ましい
産業組織論	前後	2			○				
公共部門と財政	前後	2		○					→「財政の基礎」を修得済であることが望ましい
日本経済史	前後	2			○				
近代日本経済史	前後	2			○				
西洋経済史	前後	2			○				
近代西洋経済史	前後	2			○				
開発経済	前後	2			○				
雇用と社会政策	前後	2			○				
労働経済	前後	2			○				
日本の金融システム	前後	2		○					→「金融の基礎」を修得済であることが望ましい
国際通貨と国際金融	前後	2		○					→「金融の基礎」を修得済であることが望ましい
少子高齢社会と社会保障	前後	2			○				→「社会保障の基礎」を修得済であることが望ましい
環境経済の基礎	前後	2		○					
環境と経済	前後	2			○				
企業活動と環境	前後	2			○				
地域と経済	前後	2		○					
地域と行財政	前後	2		○					→「財政の基礎」を修得済であることが望ましい
NGO・NPOと社会	前後	2			○				
まちづくりと市民	前後	2			○				
国際協力と援助	前後	2			○				
医療の経済	前後	2			○				
農業経済	前後	2			○				
環境・開発問題入門	前後	2		○					
環境・開発問題	前後	2		○					→テーマが異なれば複数履修可
地域社会問題入門	前後	2		○					
地域社会問題	前後	2		○					→テーマが異なれば複数履修可
アメリカ経済	前後	2			○				
EU経済	前後	2			○				
アジア経済	前後	2			○				
経済学史	前後	2		○					
近代経済学の歴史	前後	2			○				

☆ 履修保留(8頁参照)が認められた場合に限り、「演習Ⅱ・Ⅲ」を4年次に同時履修することができる。

次ページに続く

授 業 科 目	開 講	単 位	開 講 学 年				コ ー ス		備 考
			1	2	3	4	メ マ ネ ジ	情 会 報 計	
日 本 の 経 済 思 想	前後	2		○					
社 会 経 済 思 想	前後	2			○				
福 祉 社 会 と 情 報	前後	2			○				
地 方 自 治 I	前後	2			○				
地 方 自 治 II	前後	2			○				
日 本 史 概 論 I	前後	2	○						
日 本 史 概 論 II	前後	2	○						
東 洋 史 概 論 I	前後	2	○						
東 洋 史 概 論 II	前後	2	○						
西 洋 史 概 論 I	前後	2	○						
西 洋 史 概 論 II	前後	2	○						
社 会 学 A	前後	2			○				
社 会 学 B	前後	2			○				
政 治 学 概 論	前後	2			○				
国 際 法 の 基 礎	前後	2		○					
国 際 紛 争 処 理 法	前後	2			○				
国 際 政 治 A	前後	2		○					
国 際 政 治 B	前後	2		○					
憲 法	通年	4		○					
民 法 I	前後	2			○				
民 法 II	前後	2			○				
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C I	前後	2		○					→ (データベース) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C II	前後	2		○					→ (ネットワークの活用) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C III	前後	2		○					→ (プレゼンテーション技法) 「コンピュータと情報A・B」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 C IV	前後	2		○					→ (コンテンツ制作演習) 「コンピュータと情報A・B」及び「マルチメディア表現と技術」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D I	前後	2			○				→ (ネットワーク管理とセキュリティ) 「コンピュータと情報A・B」及び「情報通信ネットワーク」を修得済であること
マ ル チ メ デ ィ ア 表 現 と 技 術	前後	2		○					→ 「コンピュータと情報A」を修得済であること
コ ン ピ ュ ー タ と 情 報 D II	前後	2			○				→ (シミュレーション・グラフィックス) 「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プ ロ グ ラ ミ ン グ 技 法	前後	2			○				→ 「コンピュータと情報A・B」及び「情報処理の基礎」を修得済であること
プ ロ グ ラ ミ ン グ 演 習	前後	2			○				→ 「コンピュータと情報A・B」と「情報処理の基礎」及び「プログラミング技法」を修得済であること
情 報 通 信 ネットワーク	前後	2		○					→ 「コンピュータと情報A」を修得済であること
情 報 社 会 と 職 業	前後	2			○				
情 報 処 理 の 基 礎	前後	2		○					→ 「コンピュータと情報A」を修得済であること
情 報 倫 理 と セ キ ュ リ テ ィ	前後	2			○				
法 情 報 学	前後	2			○				
情 報 メ デ ィ ア 問 題 入 門	前後	2		○					
情 報 メ デ ィ ア 問 題 演 習	前後	2		○					→ 「情報メディア問題入門」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (環 境 ・ 開 発) 3	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ワ ー ク (環 境 ・ 開 発) 4	通年	4			○				→ 「フィールドワーク入門 (環境・開発)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (環 境 ・ 開 発) 3	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (環 境 ・ 開 発) 4	通年	6			○				→ 「フィールドスタディ入門 (環境・開発)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ワ ー ク 入 門 (地 域 社 会) 5	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ワ ー ク (地 域 社 会) 6	通年	4			○				→ 「フィールドワーク入門 (地域社会)」もしくは「フィールドワーク (企業)」を修得済であること
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ 入 門 (地 域 社 会) 5	前後	2		○					
フ ィ ー ル ド ス タ デ ィ (地 域 社 会) 6	通年	6			○				→ 「フィールドスタディ入門 (地域社会)」を修得済であること
金 融 シ ス テ ム 特 別 演 習	前後	2			○				
国 際 経 済 特 別 演 習	前後	2			○				
経 済 学 特 論	前後	2	○						→ テーマが異なれば複数履修可
ネ ッ ト ワ ー ク 型 組 織	前後	2			○				
消 費 者 主 権 の 経 済 学	前後	2		○					
消 費 情 報 教 育	前後	2			○				
経 済 英 語	前後	2		○					→ テーマが異なれば複数履修可
専 門 資 格 取 得 指 導	前後	2		○					→ テーマが異なれば複数履修可
職 業 指 導	通年	4			○				

専門関連科目

- 3) フィールドワーク入門 (環境・開発) とフィールドスタディ入門 (環境・開発) は毎年いずれかが開講される。
4) フィールドワーク (環境・開発) とフィールドスタディ (環境・開発) は毎年いずれかが開講される。
5) フィールドワーク入門 (地域社会) とフィールドスタディ入門 (地域社会) は毎年いずれかが開講される。
6) フィールドワーク (地域社会) とフィールドスタディ (地域社会) は毎年いずれかが開講される。
○で示す開講学年で履修することが望ましい。ただし、履修学年に制限がない限り、当該学年以降でも履修することができる。